

KIMURA UNITY グループ

CSRレポート 2012



車社会に 夢・豊かさ・安心を



Providing Dreams, Comfort, and Security for the car oriented lifestyle
KIMURA UNITY CO.,LTD.

Contents

 トップメッセージ		1
I. 企業情報		
 事業概要		2～4
 C S Rを支える仕組み		5～7
II. 社会性報告		
 お客様とともに		8
 従業員とともに		9～10
 ビジネスパートナーとともに		11
 株主／投資家の皆様とともに		12
 地域社会とともに		13～14
III. 環境報告		
 地球環境のために		15～17

■編集方針および報告内容

発行目的

本レポートは、キムラユニティグループを取り巻く様々なステークホルダーの皆様へ、当社グループが進めるC S Rへの考え方や活動内容などについて、わかり易くお伝えすることを目的としております。今後も、更にわかり易いC S Rレポートとなるように努め、毎年1回定期的に発行していく予定です。添付のアンケートなどにより、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

本レポートの対象期間

2011年度（原則として、2011年4月～2012年3月）

※一部の項目については、対象期間外の内容を含みます。

参考としたガイドライン等

環境報告ガイドライン（2012年版）

GRI サステナビリティレポートガイドライン（Ver.3）

ご挨拶



代表取締役社長 **木村 幸夫**

president Yukio Kimura

ステークホルダーの皆様と共に、着実・確実・誠実に
発展し続けるグループを目指して、C S R活動への取り
組みを強化してまいります。

キムラユニティグループは、1881年（明治14年）創業以来、「会社はお客様のためにあり、社員とともに会社は栄える」を経営理念とし、常に「お客様の価値実現」を事業活動の根幹として、物流サービス、自動車サービスの事業領域を拡大すると共に、情報サービス事業や人材サービス事業という新規分野にも進出し、国内・海外において広く事業を展開してまいりました。

昨今の経済環境は大変厳しく、また企業を取り巻く環境、市場やお客様のニーズの変化のスピードは更に加速し、その対応には常に未来に目を向けていくことが求められております。このような環境の中、当社グループにおきましては、常に創業の原点を忘れることなく、ニーズの変化を見通し、一步先のサービスを創出していくことが、この劇的に変化する時代に生き残り、ステークホルダーの皆様とともに成長・発展していくことにつながるものと考えております。

その成長・発展をより確かなものにするために、地球環境問題やコーポレートガバナンスなどのC S R（企業の社会的責任）活動が益々重要なものになると考えております。「環境、地域や当社グループを支えていただいている多くの人々のために、企業市民として何ができるのか」を常に考えながら、「意識」「行動」「技術」の革新をし、着実・確実・誠実に発展し続けるグループを目指して、C S R活動への取り組みを更に強化してまいります。

今後とも皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。



事業領域

『物流サービス』『自動車サービス』『情報サービス』『人材サービス』
4つの複合的なサービスを通じて、お客様の価値を実現します。

「業務の標準化」「IT」「継続的な改善」
「環境」の4つのキーワードを活かし、
それぞれのお客様にとって最適な3PL^{※1}
サービスを提供します。



物流サービス
Logistics Services
安全、品質、コスト、
リードタイム...
物流の最適化をご提案

安全性や品質の向上、コストの削減で、
更に豊かなカーライフを実現するさま
ざまな提案を行い、お客様へあたたかな
サービスを提供します。



自動車サービス
Total Car Services
企業へ、個人へ、
クルマの総合的な
管理サービスをご提案



情報サービス
Information Services
高度な業務ノウハウと
IT技術で、
物流ビジネスのご提案

物流ノウハウを最大限に活かしたシステム
&コンサルティング、システム開発、保守
サービスなど、企業ニーズにお応えできる
多彩なソリューションを提供し、すべての
お客様にご満足をお届けします。

人材サービス
Staffing Services

企業を支える
人材ニーズをご提案

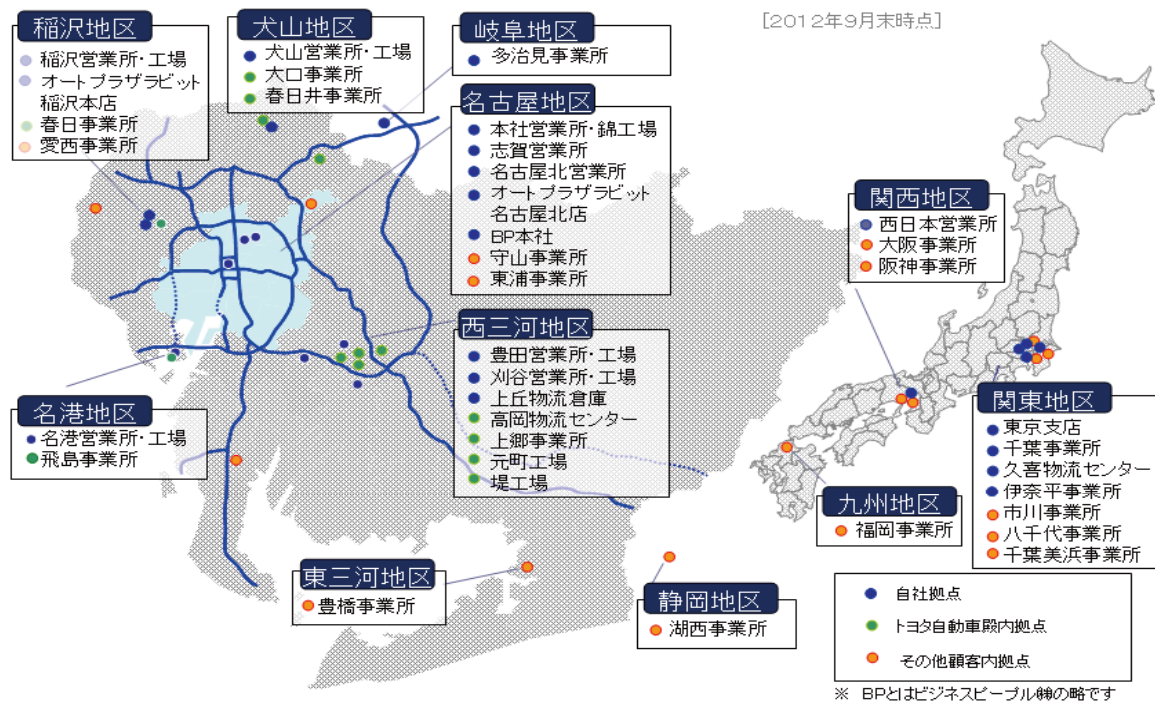


仕事と人をつなげる“人材コンサルタント
集団”として、次世代を見据えた企業の
戦力向上に貢献できる人材の確保・活用・
育成のあり方をご提案します。

※1: 3PLとは「Third Party Logistics」の頭文字を取ったもので、荷主でも輸送業者でもない
第三者の物流業務全般のアウトソーシングです。

国内拠点

愛知県を中心に、中部、関東、関西、九州と主要な生産・物流拠点にネットワークを拡げ、付加価値の高いサービスを提供しています。



海外拠点

日本国内で培った「物流ノウハウ」と「信頼」をベースに、現地で求められる最適な物流サービスを提案・実践いたします。

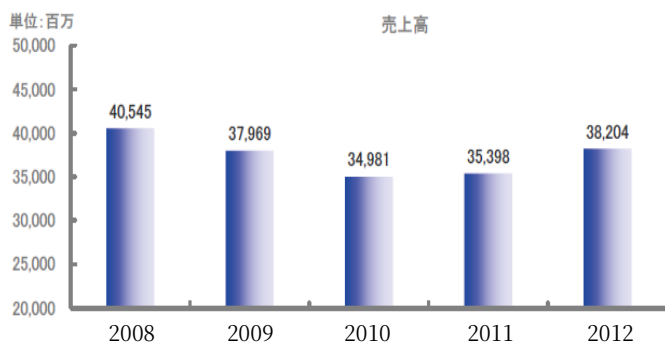


会社概要

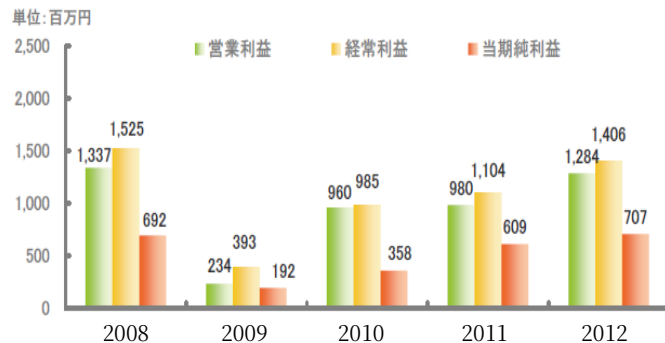
商 号	キムラユニティー株式会社 KIMURA UNITY CO., LTD	資本金	35億8,035万円
本 店	愛知県名古屋市中区錦三丁目8番32号	決算期	3月31日(年1回)
電話番号	(052) 962-7051(代表)	公開市場	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
従業員数	2,339名〔連結〕(2012年3月31日現在)	証券コード	9368
代表取締役社長	木村 幸夫		
設立年月日	1973年10月1日		
グループ構成	連結子会社 国内 1社 海外 4社 (計 5社) 持分法適用関連会社 国内 1社 海外 3社 (計 4社)		

企業集団〔連結〕の決算概要

売上高の推移



営業利益、経常利益、当期純利益の推移



ビジネスモデルの進化

業態改革の推進によって、新規分野、海外事業展開へ

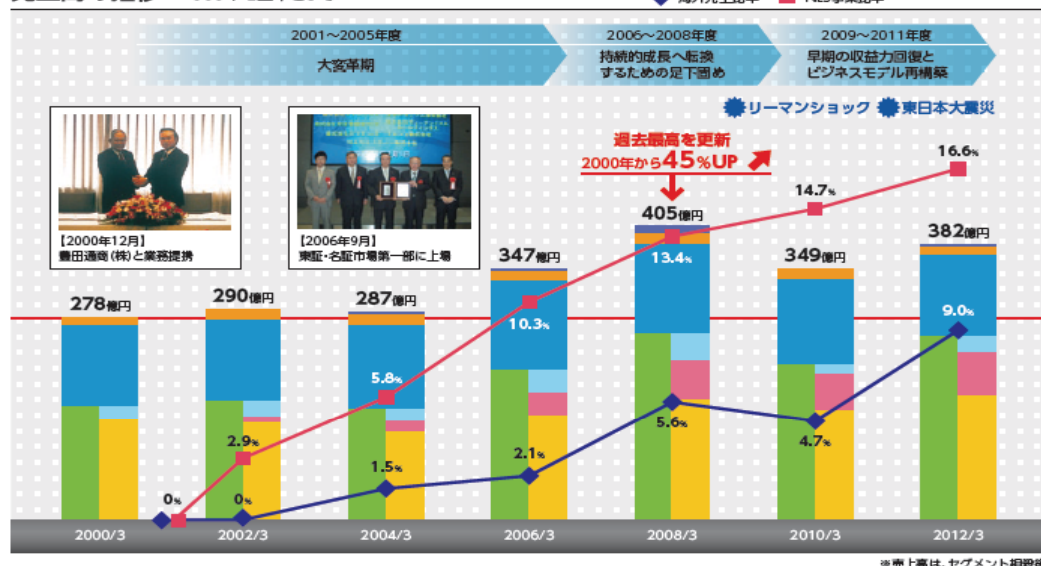
当社グループは、1881年の創業以来、自動車産業と密接な関係を持ちながら、包装事業、格納器具製品事業の「物流サービス事業」、車両リース事業、車両整備事業、保険代理店事業、カー用品販売事業の「自動車サービス事業」、更には、「情報サービス事業」「人材サービス事業」と事業領域を拡大してまいりました。

特に2000年以降に事業構造は大きく変貌してまいりました。国内では、それまでの自動車関連物流サービスから3PL(サード・パーティー・ロジスティクス)の視点で自動車産業以外(現在のNLS事

業)へ領域を拡大しております。海外では、2000年の豊田通商殿との海外業務に関する業務提携以降、海外進出を果たし、現在では海外にて子会社・持分法関連適用会社は、7社まで拡大しております。

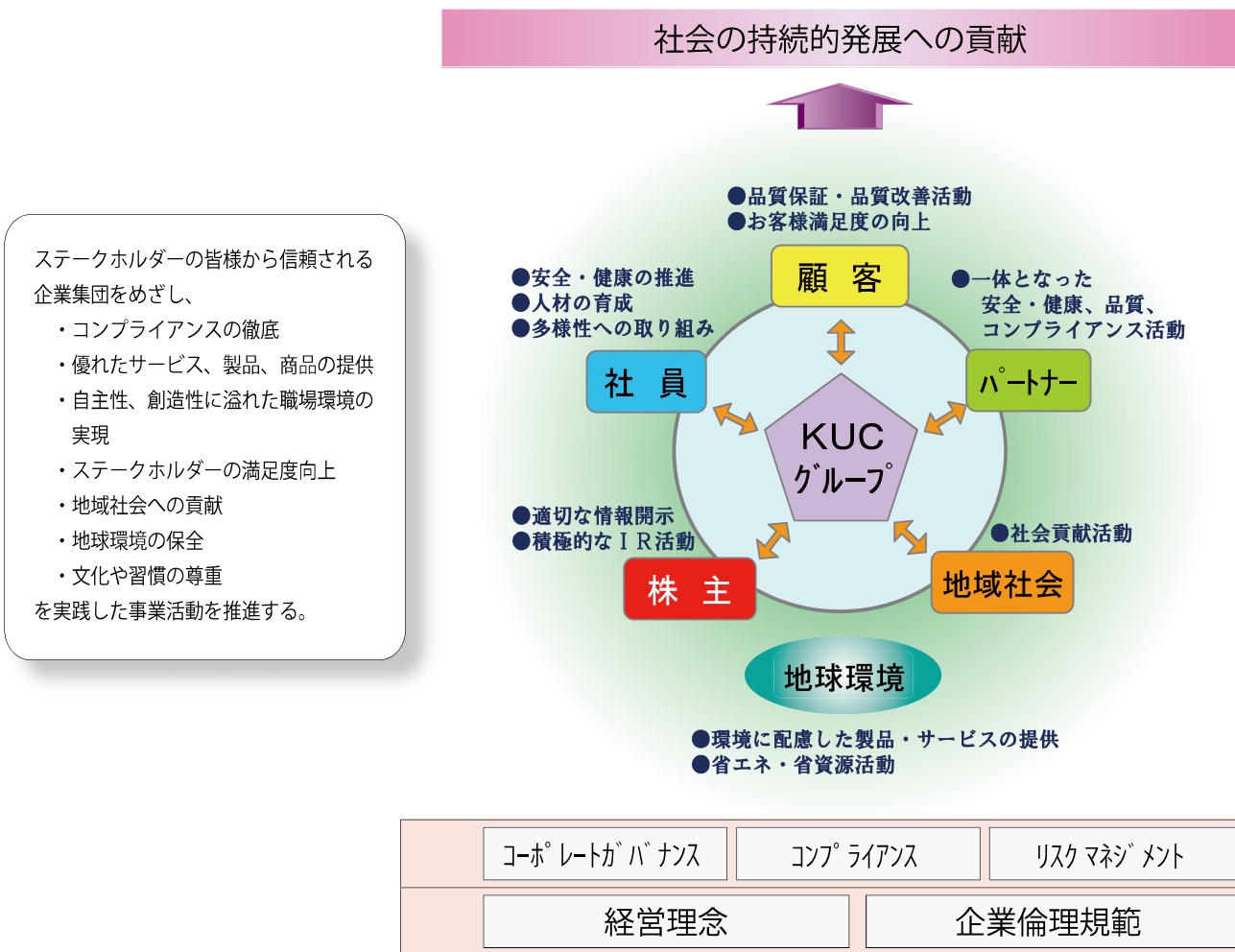
今後も、当社グループでは、「物流サービス」「自動車サービス」「情報サービス」「人材サービス」の4つの複合的なサービスを通じて、お客様のニーズにお応えすべく、それぞれの分野で更に新しい価値を創造し、日々努めてまいります。

売上高の推移 ～2000年を基準として～





CSRの考え方



ステークホルダーの皆様から信頼される企業集団をめざし、

- ・コンプライアンスの徹底
- ・優れたサービス、製品、商品の提供
- ・自主性、創造性に溢れた職場環境の実現
- ・ステークホルダーの満足度向上
- ・地域社会への貢献
- ・地球環境の保全
- ・文化や習慣の尊重

を実践した事業活動を推進する。



経営理念・企業倫理規範

キムラユニティーグループは、「経営理念」と「企業倫理規範」を実践することを、CSRの根幹としております。

【経営理念】

会社はお客様のためにあり、社員とともに会社は栄える。

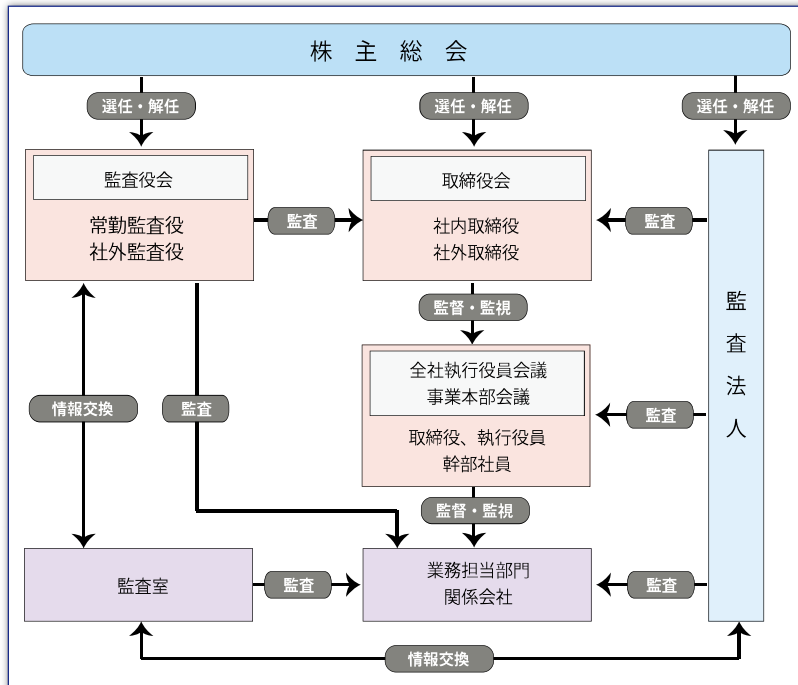
【企業倫理規範】

1. 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行う。
2. 優れたサービス・製品・商品の提供を通じて社会に貢献する。
3. 社員の人格、個性を尊重し、自主性・創造性に溢れた職場環境を実現する。
4. 株主・顧客・パートナーの満足度の向上と価値創造に貢献する。
5. 地域社会に貢献する良き「企業市民」たることを目指す。
6. 地球環境の保全と豊かで住みやすい社会作りに貢献する。
7. 各国・各地域の文化や慣習を尊重し、経済・社会の発展に貢献する。



コーポレートガバナンス体制

迅速かつ正確な情報の把握と意思決定により、企業価値、株主価値及び顧客価値を最大化することを重要な経営目標としております。今後ともコーポレートガバナンスについて真剣に取り組み、ディスクロージャの充実を含め、企業経営の透明性の確保と経営監督機能の強化を推進しております。



● 取締役会

定例取締役会を毎月1回開催するほか、必要に応じて随時開催し、経営戦略の意思決定と職務遂行の監督・監視を行っております。

● 全社執行役員会議、事業本部会議

意思決定の迅速化、監督体制の強化、業務執行の強靱化を目的に、1999年6月より執行役員制を導入いたしました。取締役に執行役員を加えた、全社執行役員会議と事業本部毎に取締役と執行役員、及び幹部社員から成る事業本部会議を設け経営の監督と業務執行状況の監視に努めております。

● 監査役会、監査室、監査法人

監査役には、当社出身の常勤監査役1名に加え3名の社外監査役を選任し、職務執行の監督を徹底すると共に監査の充実を図っております。監査役、監査室、に監査法人を加えた三様監査会を定期的に開催し、各立場より監査状況の情報交換を行なうことにより、コーポレートガバナンスの実効性が向上するよう努めております。

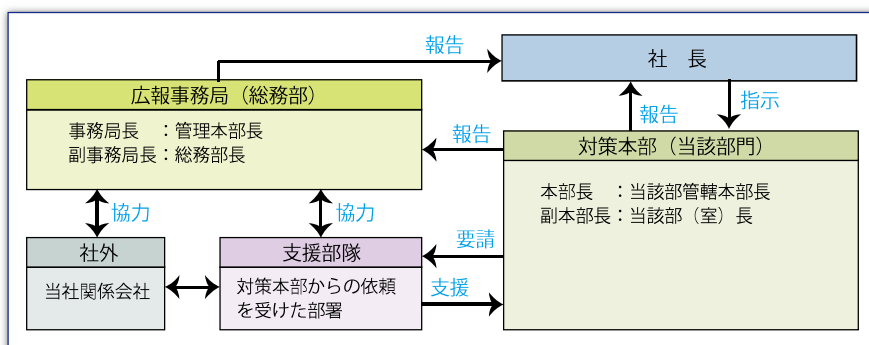
● 社外取締役

取締役7名中1名を社外取締役とし、経営に対する高い見識で当社の業務執行を監視しております。社外取締役を選任することにより、取締役会の透明性の確保、取締役相互の経営監視とコンプライアンスの徹底に努めております。

リスクマネジメント

激変する経営環境の中で、企業（グループ）価値、株主価値及びお客様価値を最大化する為には、取り巻く環境を適時適切に認識し、様々なリスクに対して的確に対応することが重要と考えております。

当社では、業態の改革、海外を含む新たな拠点の設置、大型の設備投資、他社とのアライアンスなど経営上重要な意思決定に関するリスクに対して、関係部門でのリスク分析及び対策検討を行なうと共に、必要に応じて外部の関係機関より助言等も受けております。また、品質クレームや職場災害などの事業遂行に関するリスクについては、専任部署及び各部門のスタッフが日常におけるリスク管理に取り組んでおります。



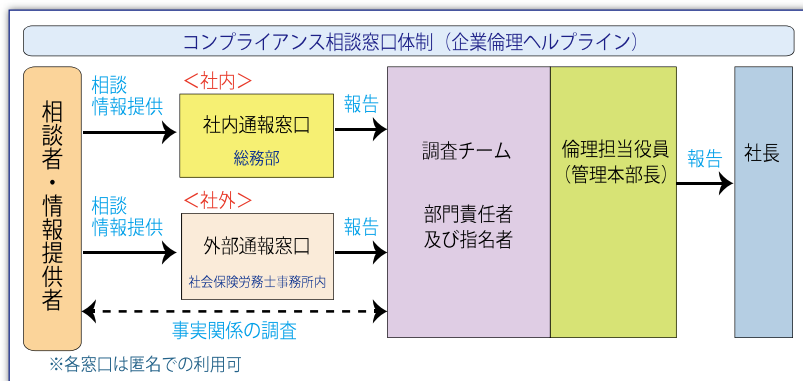
万一リスクが発生し、経営に重大な影響を及ぼすような事態が想定される場合には、速やかに対策本部を設置することで被害の最小化に努める体制を整えます。



コンプライアンスの徹底

企業のグローバル展開、行政による規制緩和の進展、雇用形態の多様化など、当社を取り巻く環境が著しく変化する中、法令の遵守は企業活動を行なう上での根幹であると認識しております。

「キムラユニティグループ企業倫理規範」及び「キムラユニティグループ企業行動基準（コンプライアンス指針）」を遵守し、定期的に取り締役、監査役、幹部社員等を対象とした「コンプライアンス研修」を外部講師を招いて開催し、意思統一とグループ内での法令遵守の周知徹底を図っております。また、インサイダー取引の未然防止を目的として「内部情報管理及び内部者取引規制に関する規程」を制定し、自己株式を売買する場合は事前に「有価証券売買事前届出書」を総務担当役員宛てに届け出ることとして徹底を図っております。



なお、組織的または個人的な法令違反行為等に関する相談や情報提供に対して、適正に処理する為の仕組みとして「企業倫理ヘルプライン」を設け、違法・反倫理的行為の早期発見と抑制に努めております。

●コンプライアンス研修

コンプライアンス意識の向上、法令の遵守徹底を目的として、階層別の「コンプライアンス研修」「労務管理研修」を開催しております。2011年度は、労働災害に関する実践的研修、不祥事案未然防止対策、労務管理（就業規則編）、コンプライアンスに関する規程、労働災害に対する処置ルールなどについて内部講師、および外部講師による研修会を実施しております。



コンプライアンス研修

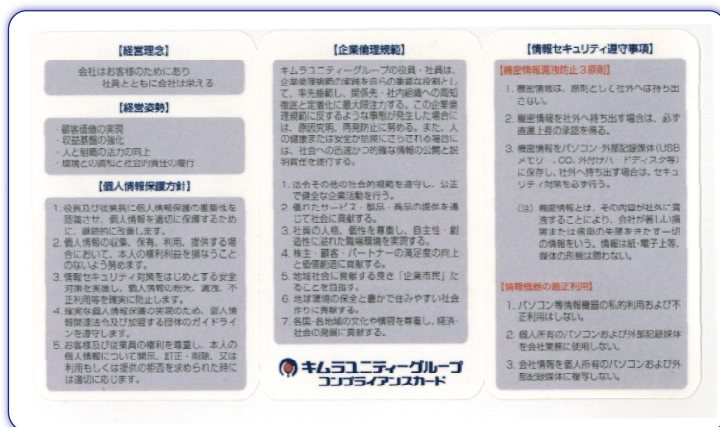


労務管理研修

●コンプライアンス・カードの配布と周知徹底

経営理念、経営姿勢、企業倫理規範、個人情報保護方針、などを記載した『コンプライアンス・カード』を改訂し、全ての従業員への再配布と周知徹底をおこないました。また新規採用時に配布し、常時携帯を励行しております。

『コンプライアンス・カード』



Ⅲ. 社会性報告

お客様とともに



サービス品質の向上に向けて

当社グループは、常に創業の原点を忘れることなく、時代や市場、お客様ニーズを的確に捉えて、「お客様の価値実現」には何をなすべきかを考え、ソリューションの視点でサービス品質の向上に努めています。

品質改善への取り組み

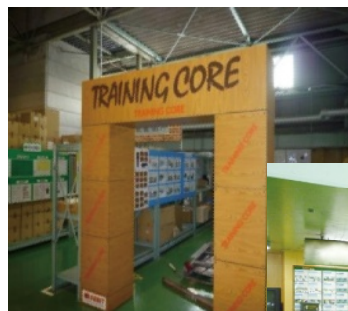
当社グループの大阪事業所では、お客様と当社が一体となり、お客様視点に立った高品質な物流サービスを提供できるセンターづくりを目指して改善に取り組み、大きな成果を上げております。

●ハイブリット台車を活用した作業



バーコードスキャナーやセンサー等を搭載し、商品のピッキング作業と検収を同時に処理することにより、高い品質と生産性を実現します。

●トレーニングコア（訓練道場）

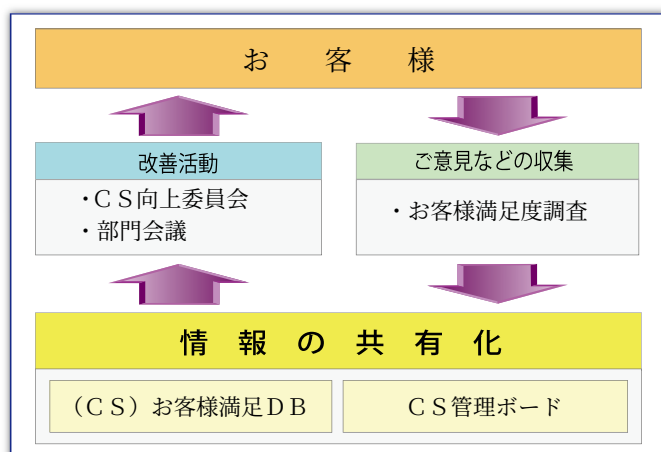


トレーニングコア（訓練道場）により新人の即戦力化、作業者の安全・品質・能率など、作業レベルの向上を図っております。

お客様満足度向上活動

当社グループは、お客様から選ばれる企業になるために、物流・自動車・情報サービスにおいて、お客様満足度調査を実施しております。お客様からの数多くのご評価及び改善のご要望を的確に把握し、サービス品質の改善に積極的に活用しております。

●物流サービス事業におけるお客様満足度向上活動



情報の共有化を図るために各現場に「CS管理ボード」を設置し、お客様満足度向上活動を継続的に推進しております。



CS管理ボード



安全な職場づくり

全ての職場で「相互啓発型」の安全文化をつくるのが、結果として「災害ゼロ」につながる。を合言葉に、現場（職場）の末端まで意識の向上を図り、安全活動を更に強化してまいります。

●安全・コンプライアンス特別推進活動

全社を挙げて、安全職場づくりやコンプライアンスの徹底など、さまざまな活動を展開しております。

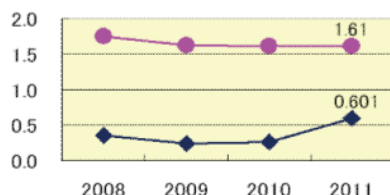
- ・「安全特別講演会」の開催
- ・トップによる安全点検の実施
- ・安全意識調査の実施（2回／年）
- ・安全先進企業へのベンチマーキングの実施 ほか

●トップ点検の実施による安全職場の維持・徹底

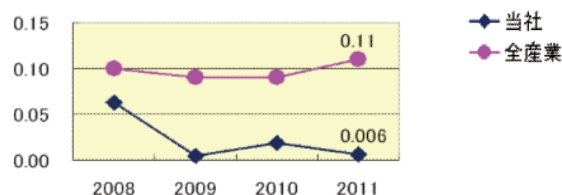
トップからの視点により、さまざまな職場活動における改善事例を現地現物で確認し、明るく元気な現場力・職場力の強化につなげる。また現場（職場）点検により、安全・コンプライアンス・品質・生産性（原価低減）意識の高揚を図ることを目的として、経営役員ならびに執行役員による定期的かつ継続的なトップ点検を実施しております。



●休業度数率（度数率：災害発生の頻度）



●強度率（強度率：災害の重さの程度）



※全産業の「休業度数率」及び「強度率」は、厚生労働省の『労働災害動向調査の結果』に基づく（2011年度より調査対象産業に農業が追加されているため、それを除く）

2011年度の休業災害が5件（2010年度は2件）発生しておりますが、強度率は0.006（2010年度は0.019）減少しております。今後も継続して、全ての職場で「災害ゼロ」に向けた活動を進めてまいります。

健康な職場づくり

心身ともに健康でいきいきと働くことができるよう、従業員の健康管理と職場環境の整備として、以下の制度を導入しております。

- ・看護師による職場巡回健康面談の実施
- ・長時間勤務者に対する産業医面談の実施
- ・メンタルヘルス活動として「心の健康相談窓口」の開設および、メンタルヘルス研修の実施 ほか

●「心の健康相談窓口」の開設

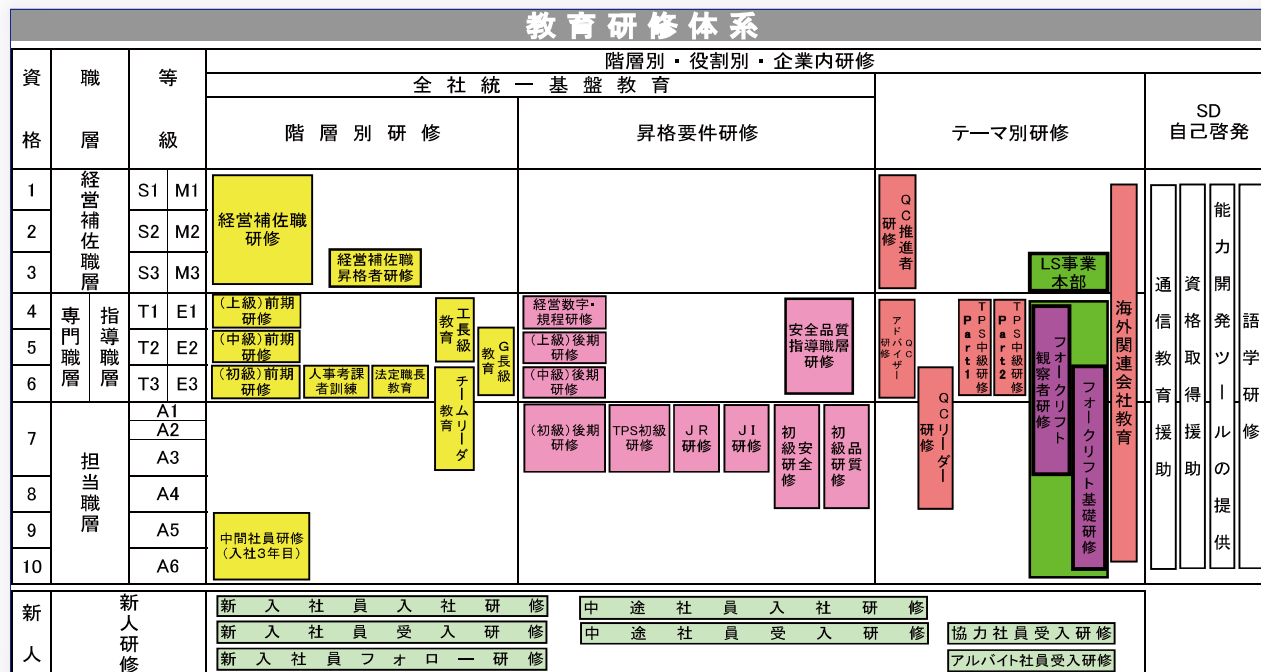
心の健康を組織的かつ継続的にケアし、従業員一人ひとりが健康でいきいきとした会社生活をおくれるようにすることが、何よりも重要であると考えます。当社グループでは、2009年6月より「心の健康相談窓口」を開設し、不安や悩みや怒りなどのマイナスの思いを少しでも取り去って、心の負担を軽くできるような環境づくりを進めております。

Ⅱ. 社会性報告

従業員とともに

人材の育成

従業員一人ひとりが達成感を得ながら、グローバルに通用するプロフェッショナルな人材へと育成するため、職種・階層ごとに教育研修制度の充実を図っております。



多様性への取り組み

全ての従業員の多様性・創造性を尊重し、いきいきとやりがいを持って働ける活気に満ちた職場づくりを進めております。

●障がい者雇用

年 度	2008	2009	2010	2011
障がい者雇用者数	27名	27名	43名	44名
障がい者雇用率	1.66%	1.83%	1.79%	1.84%

障がい者の積極雇用を図り、法定雇用率を上回る雇用を継続しています。

※法定雇用率は1.8%

●60歳以降の就労制度

年 度	2008	2009	2010	2011
再雇用者数	33名	28名	38名	23名

改正高齢者雇用安定法の施行に合わせ、より多くの従業員が再雇用される制度へと見直しを行いました。

●育児・介護休暇及び柔軟な勤務制度

従業員の仕事と家庭の両立を支援するため、育児・介護休業制度及び短時間勤務制度等を導入しております。

年 度	2008		2009		2010		2011	
性 別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
育児休業利用者数	0名	7名	0名	3名	0名	4名	0名	3名
育児短時間勤務利用者数	0名	2名	0名	4名	0名	1名	0名	8名
介護休業利用者数	1名	0名	0名	0名	2名	1名	0名	1名
介護短時間勤務利用者数	—	—	—	—	0名	0名	0名	0名

●有給休暇の取得

年 度	2008	2009	2010	2011
有給休暇取得率	74.6%	59.2%	66.1%	65.3%
計画年休取得率	89.6%	78.9%	84.7%	78.1%

労働時間を短縮するよう年次有給休暇の取得を推進しており、労使連携のもと年次有給休暇の計画的付与制度を導入しております。

Ⅲ. 社会性報告

ビジネスパートナーとともに



ビジネスパートナーと一体となった活動

ビジネスパートナーの皆様とCSRの共通認識を持ち、協調して取り組んでいくことが必要と考えます。
安全・健康・品質・コンプライアンス推進のため、ビジネスパートナーの皆様と理念を共有し、一体となった活動に取り組んでおります。

●仕入先総会の開催



ロジスティクスサービス事業本部におきましては、年に一度の仕入先総会を開催し、会社方針や企業倫理規範、調達方針などの説明や、コンプライアンスの徹底を進めております。
2011年度は、労働基準法（災害補償に関する事項）、労災保険やその手続き、労災かくし防止に関する事項、災害発生時の対応などについて、情報の共有化と意識の統一を図りました。

●安全特別講演会の開催



現場の末端まで安全に対する意識の向上を図り、相互啓発型の安全文化を定着させることを目的として、当社グループの従業員に加えてパートナー会社も含めた参加者にて、外部講師による「安全特別講演会」を開催いたしました。
2011年度は、パートナー会社 59 社（97 名）にご参加いただきました。

●コンプライアンス研修会の開催

コンプライアンス徹底への取り組みとして、当社グループ従業員に加えてパートナー会社も含めた参加者を対象に「コンプライアンス研修会」を開催し、コンプライアンスの重要性や労務リスクに関する事項、コンプライアンスに関する規程など、具体的かつ実践的な研修をおこなっております。
2011年度は、パートナー会社 60 社（82 名）にご参加いただきました。

●QCサークル活動発表会の開催



第 29 回 QCサークル活動発表会

「人間の能力を発揮し無限の可能性を引き出す」
「人間性を尊重して生きがいのある明るい職場をつくる」
「企業の体質改善・発展に寄与する」
を实践し、人材育成とコミュニケーションの活性化を目的とする『QCサークル活動』を永年に渡り進めております。パートナー会社にもご参加いただき、年1回の『QCサークル活動発表会』を開催しております。
2011年度は、パートナー会社 25 社（56 名）にご参加いただきました。

Ⅱ. 社会性報告

株主 / 投資家の皆様とともに

I R情報の開示

当社ホームページにI R情報サイトを開設し、投資にかかわる情報をタイムリーかつ正確に開示するように努めています。このサイトでは、決算短信、有価証券報告書、財務データ、I R資料（決算説明会資料、株主通信）などを掲載しています。



株主 / 投資家の皆様とのコミュニケーション

証券アナリスト / 投資家の方々を対象に、年2回決算説明会を開催し、業績・経営方針等の説明を行っています。また、名古屋証券取引所のI Rエキスポに毎年参加し、株主 / 投資家の皆様との対話に積極的に取り組んでいます。



決算説明会

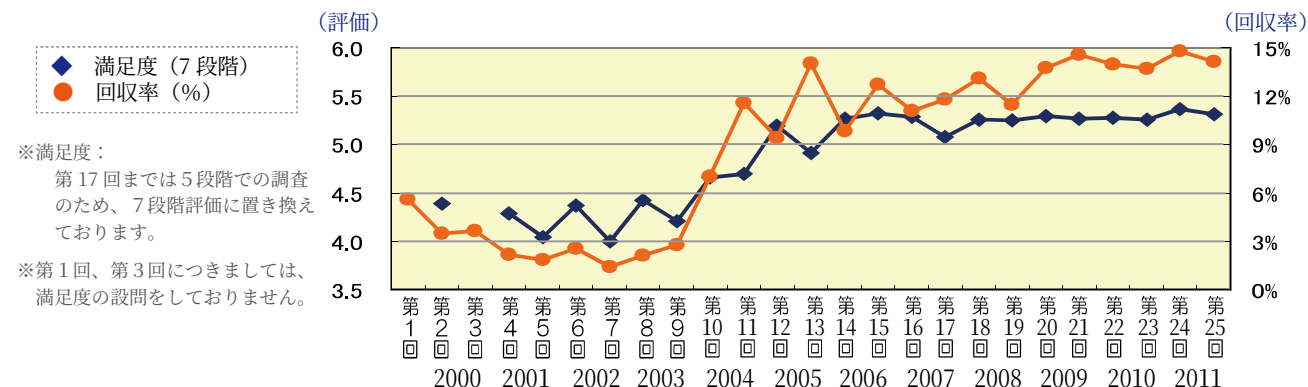


I Rエキスポ

株主アンケート

株主の皆様「声」をお聞かせいただき経営に活かしていくため、株主アンケートを年2回実施しております。株主の皆様からのご意見やご要望にお応えし、「株主優待制度の拡充と変更」や「株主通信への配当金推移グラフの追加掲載」などを行いました。

●株主通信への満足度と株主アンケートの回収率推移





交通事故撲滅に向けた安全活動

当社グループは車社会に携わる一員として、東海ラジオ放送による愛知県警察のセーフティメッセージの30年以上にわたる提供や交通安全イベントへの協賛等により、交通事故撲滅に向けた活動に積極的に取り組んでいます。また、毎年従業員が力を合わせて交通安全募金活動を実施、「東海交通遺児を励ます会」等へ寄付をし、安全・安心なクルマ社会づくりに役立てております。

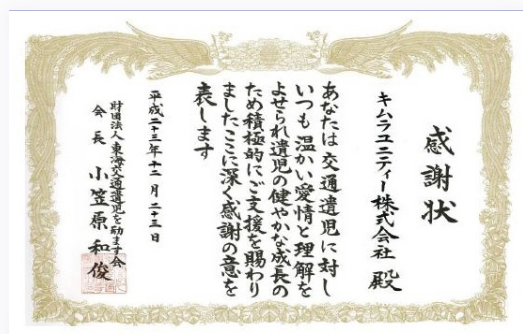


交通安全イベントにおける安全運転適性検査の実施状況

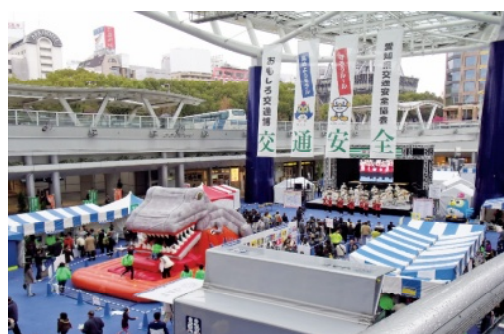


「交通安全ニュース」

セーフティメッセージの内容は、「交通安全ニュース」としてホームページ上にも提供し、積極的に交通安全を呼びかけています。



財団法人「東海交通遺児を励ます会」からの感謝状



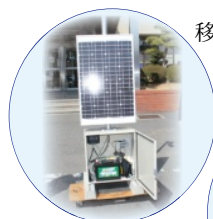
おもしろ交通博'12

交通安全および地域防犯 資機材の寄贈活動

2012年3月に創業130周年及び会社統合20周年記念事業として、愛知県警本部と自社拠点のある警察署（6所轄）並びに交通安全協会・防犯協会へ、交通安全グッズや防犯グッズを寄贈しました。



愛知県警察 中署での贈呈式



移動式防犯カメラ
(ソーラーシステム付)



コノハけいぶ※1
交通安全 反射板

<寄贈品の一例>

会社創業100周年、110周年という節目においても、広報車両や交通安全資機材などを寄贈しております。



交通安全広報車

※1：コノハけいぶは愛知県警察のマスコットキャラクターで、愛知県の県鳥であるコノハズクをモチーフにしています。

東日本大震災の復興支援への義援活動

2011年3月11日に発生しました東日本大震災の被災地復興に向けて、日本赤十字社、あしなが育英会、NPO ジャパン・プラットフォーム、および社会福祉法人の中日新聞社会事業団などを通じての義援活動をおこなっております。

Ⅱ. 社会性報告

地域社会とともに

その他の社会貢献活動

●地域への大規模災害時の支援協力



名古屋市が推進する「防災安心まちづくり運動」を通じて、大規模災害時における地域との支援協力体制づくりの促進に取り組んでおります。

地域支援協力は、日頃から、事業所が保有している器材（ジャッキ、ホース等）の提供などの連携を地域と図っておくことにより、災害時の被害を軽減することを目的としています。

●各事業所周辺での清掃活動



稲沢営業所での清掃活動



名古屋北営業所での清掃活動



豊田工場での清掃活動

●「職場体験」の実施

地元の中学生などを受け入れ、「職場体験」を行っております。

●エコキャップ推進活動

ペットボトルのキャップを集め、途上国の子供達へ『ポリオワクチン』を届けるエコキャップ活動を推進しています。

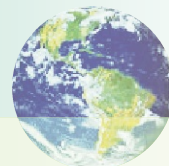


※ペットボトルキャップは、回収されれば新たなプラスチック製品へと生まれ変わり、さらに800個のキャップで子供1人分のポリオワクチンと交換できます。

（データ元：エコキャップ推進協会）

※回収されたペットボトルキャップは、NPO法人「エコキャップ推進協会」を通じて、その売却代金の寄付により世界の子供達へワクチンが届けられます。

エコキャップ回収実績（2011年度）： 約59,200（個） ⇒ ポリオワクチン 約75名分



環境マネジメントの取り組み

世界規模で地球環境保護に高い関心が集まり、CO₂の削減や資源の有効利用など、環境に配慮した事業活動が幅広く求められています。環境対策が企業の社会的価値につながる現代、当社は豊田工場と刈谷営業所でISO14001（環境マネジメントシステム）を取得するとともに、環境保全活動の全社展開を図っております。



豊田工場の
ISO14001 登録証

環境に配慮した製品・サービスの提供

●環境に配慮した格納器具製品

格納器具製品事業では、「工場での環境負荷低減」と「製品のライフサイクルでの環境負荷低減」の2つの視点から、製造時／流通時／使用時／廃棄時の各段階における評価を行い、環境に配慮した製品を提供しております。以下に、その改善活動の一部を紹介いたします。

■改善例：共通パレット構想提案

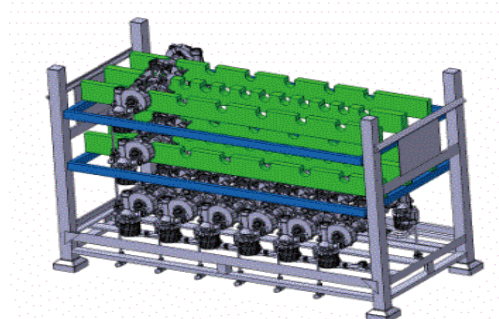
【現状】

国内出荷用（長距離物流）に専用容器にて出荷



【改善案】

長距離物流用に1種類の容器で数種類の製品の共用化



【効果】

- ・パレット保有数の削減 ⇒ 無駄な鋼材や樹脂部品の削減
- ・職場環境の向上 ⇒ 保管スペース削減
- ・物流ルートの変更による環境への考慮 ⇒ CO₂削減へ貢献（トラック輸送 ⇒ JR貨車輸送）

●環境に配慮した包装サービス

包装サービス事業では、お客様へ環境に配慮した包装仕様の改善提案を実施しております。
包装仕様の改善の考え方は、経済産業省の「環境調和型ロジステックスマネジメントシステム導入マニュアル」を基にしており、

- ・包装材の廃止、スリム化
- ・リユース、リサイクル化
- ・環境負荷の低い素材の使用

に関する評価項目を考慮して、改善提案を行っております。

以下に、その改善活動の一部を紹介いたします。

■改善例：梱包資材の見直し

発泡ポリエチレンのパットから、段ボールのパットへ変更

【現状】



【改善案】

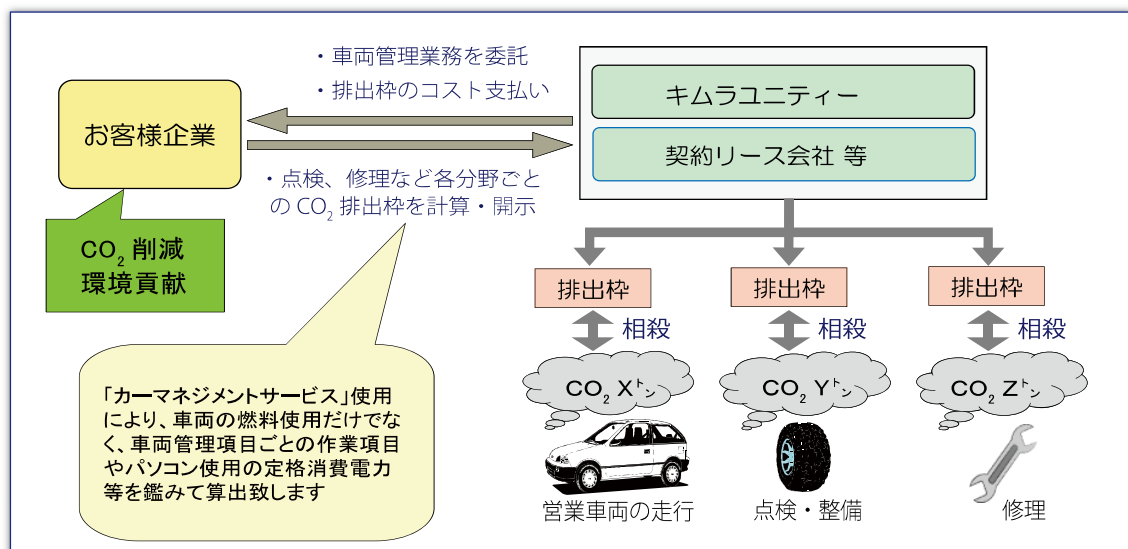


【効果】

- ・包装材削減量：84.2kg／年（CO₂低減量：24.6kg-CO₂／t）
- ・包装材廃棄時の分別が不要

●カーボンオフセットサービスの提供

企業における車両管理代行サービスとして、社有車の調達から点検、整備、保険加入などを一括代行する「カーマネジメントサービス」を提供していますが、新メニューとして「カーボンオフセットサービス」を希望する顧客に提供しております。



※ カーボンオフセットとは、製品・サービスの利用などに伴って排出されるCO₂を、自然エネルギーを使った発電や植林などによるCO₂削減による相殺（オフセット）する仕組み。

事業所内における環境への取り組み

●電気使用量の削減

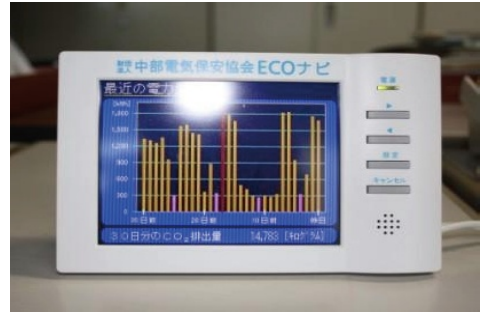
電気使用量の削減活動としては、全社統一活動として

- ・クールビズの期間延長（5/7～10/31）
- ・適正なエアコンの温度設定
- ・省エネ機器への代替（本社1階他）
- ・環境パトロール点検による遵守状況チェック
- ・自販機の省エネ（消灯、ピークカット）

等を実施しております。

また、本社及び稲沢営業所では、

- ・デマンド監視装置による最大電力等の削減
- を実施し、電気使用量および電気料金を削減しました。



本社に設置したデマンド監視装置

●廃棄物の削減、管理機能の強化



木製パレット再利用のための保管棚

廃棄物の削減活動としては、

- ・廃棄物分別の徹底
- ・持ち込まれた木製パレット等の再利用（リユース）
- ・金属くず、廃プラ等のリサイクル

等を推進しています。

また、産廃リスクの低減のために

- ・産業廃棄物委託業者の視察
- ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）のデータベース化による回収管理

等を実施し、廃棄物管理機能の強化を図っております。

●化学物質の管理

格納器具製品事業および自動車整備事業の塗装作業で使用しています塗料やシンナーなどは、化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）の対象物質を含有していることから、事業所から大気等への排出量及び事業所外への移動量を把握し、行政への届出を行っております。

●排水の管理

当社は、塗料等を含む廃液を排水しておりませんが、工場内を出入するトラック／乗用車等の油類などが流出する可能性があります。そこで、豊田工場では車両のオイル漏れ等により油分を含んだ排水が工場外に流出する場合に備え、

- ・発生した場合の対応手順書の作成
- ・土のう、吸着マット、ひしゃく等の整備

を行うとともに、年1回緊急時の訓練を実施しております。

また、外部の分析機関に依頼して、定期的に工場の排水口および油水分離槽の排水分析を行っております。



燃料漏れ事故に対する定期的な訓練の実施



油水分離槽内の排水を分析するための収集作業

KIMURA UNITY グループ



このレポートに関するご意見、お問合せは下記で承っております。

キムラユニティー株式会社 総務部 CSR推進課

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目8番32号

TEL (052) 962-7052 FAX (052) 962-7621

URL <http://www.kimura-unity.co.jp/>